

平成30年度の主な事業計画書

社会福祉法人恵寿会

社会福祉事業

1. 法人

スローガン: 人づくり・組織づくり・地域づくり

- (1) 人財の育成
 - ・ 後継者育成、接遇マナー面の強化
- (2) 災害に強い組織づくり
 - ・ BCP(事業継続計画)を中心とした平時の事業所間の関わり、非常時の連携と対策
 - いつ災害が来ても対応できる事業所づくり、平時の連携は非常時の連携に繋がる
- (3) 地域にかかわること
 - ・ 介護知識・認知症ケア知識を地域の方に伝えていく
 - 日頃の関わり及び非常時の連携方法の確認

2. 介護老人福祉施設(入所)

スローガン: スマイル ～みんなが笑顔～

- (1) 職のレベルアップ・チームワーク
 - ・ 介護技術を含め、月一回の勉強会実施、認知症・身体拘束・高齢者虐待予防・尊厳保持の内部研修の実施
 - 入浴・食事・排泄について、個々人の状態を把握し、その方に合ったケア提供する。
 - アクティビティ・ケアへの取り組み・季節行事の充実(他部署との連携・交流を図る)
- (2) 事故防止と感染予防及び褥創ゼロを目指す
 - ・ リスクマネジメントに対する意識構築、感染発生時の対応方法の周知、褥創を作らない、環境整備
- (3) 職場環境の整備
 - ・ 残業減への取り組み、有給消化への取り組み、職員間の交流
- (4) 家族との信頼関係づくり
 - ・ ふるさと訪問、イベントを利用してご家族来設を増やす、家族会の活用

3. ショートステイ

スローガン: 初心

- (1) 高い稼働率を維持し、ベットを有効活用する
 - 職員のレベルアップ、グループホーム自主事業・お泊りデイとのスムーズな連携。情報の共有、感染予防対策
 - 新規利用者・リピーターの獲得、サービスの充実・質の向上、個々の状態やニーズに合わせた適切なサービスの提供・調整・対応、他事業所との連携。働きかけ、綺麗に整備された居室、環境提供
 - 特養ベッドの有効活用
- (2) 顧客満足
 - ・ 多職種間の情報共有、意識の統一・ケアの統一、利用者へのアセスメントと自立支援、利用者情報の確認・共有の徹底、居室環境の整備・環境美化、個々のニーズに対する柔軟な対応、介護者に対する配慮・ケア
 - 利用者様・家族との信頼関係の再構築、特養内レクの充実・イベントの開催、日中の過ごし方の充実
 - 荷物管理の徹底と時間削減

4. デイサービス

スローガン: 招・匠・笑 「It's招待夢」

- (1) アクティビティ推進施設としての他事業へ中心となる、利用者満足度向上を図る
 - ・ 職員のアクティビティへの意欲の向上、レベルアップ、利用者がやりたい、やってみたいアクティビティを一緒に探す、各アクティビティの明確化、見える化、デイサービスでのアクティビティの充実
 - 他事業所とのアクティビティの合同開催、利用者を主役とする活動を行う
 - オープンカフェ(グリーンカフェ)の開催
- (2) ご利用者に認知症について知ってもらう
 - ・ 認知症講座の開催、認知症予防講座の開催(食事、運動、ケアetc)。MMSEの定期的実施

5. ホームヘルプセンター

スローガン: 在宅生活を楽しみ意欲向上につなぐ

- (1) ホームヘルプサービスの質の向上
 - ・ 既存ヘルパーの確保、月1回の勉強会、研修会の参加、ヘルパーミーティングの調整、ヘルパー募集
- (2) チームケアの取り組み
 - ・ 興味の引き出し、心身状態の把握、家族環境への支援など、情報収集
- (3) ホームヘルパーサービス案内
 - ・ 地域の声を聴く、ケアマネージャーからの情報収集

平成30年度の主な事業計画書

社会福祉法人恵寿会

6. 介護支援センター

スローガン: チャレンジ!! ～新しい分野への再挑戦～

- (1) 実働利用者数を維持する
 - ・ アセスメント力を伸ばし、早期の問題発見・解決に努める、インフォーマルサービスの活用、関係事業所との連携強化、部内カンファレンスを行い他者の意見を取り入れる、未稼働者へのアプローチ
- (2) 新たな専門分野への挑戦
 - ・ 障害分野への知識と理解を深める、障害支援の研修参加
- (3) 在宅介護の啓発運動
 - ・ 地域の集まり等に参加し介護保険の説明会を行う、支えあいセンターとの情報収集や情報提供、在宅での看取り(在宅死)の提案

7. グループホーム(グリーンヒルみふね)

スローガン: その人らしい生活を作り、楽しく暮らす。

- (1) 利用者が楽しく過ごす時間を持つ
 - ・ 入所者と一緒に外出する、馴染みのある人や場所との関係を継続する支援、利用者家族との関係を大事にする、季節にあった環境作り
- (2) レクリエーションの充実(アクティビティ活動)
 - ・ 職員の得意な分野を活かせる事をする、利用者の趣味、関心のあるものを取り入れる
身体機能回復を取り入れたレクを考える
- (3) 地域、他部署との交流
 - ・ 地域との連携・関係づくり、世代間交流、避難訓練の参加協力、他部署と合同イベント
- (4) 職場環境の整備
 - ・ 働きやすい環境にする、業務の見直しによる仕事効率化(残業時間の削減)、職員のメンタルヘルスケア

8. 小規模多機能ホーム(みどりの丘)

スローガン: 思いやりの気持ちを持って行動しよう

- (1) 事業所自己評価に伴う利用者のニーズに対応した支援
 - ・ 利用者・家族のニーズを取り入れた支援の提案と実施、趣味・嗜好を取り入れた余暇活動の実施
- (2) 事業所と地域との関わり
 - ・ 地域の方が参加できる行事計画、利用者・地域との交流(カフェ・エステ)、運営推進会議を利用し、行事への協力を仰ぐ、地域施設(小学校・保育園)との連携を円滑にするための交流会の実施
- (3) 利用者・家族が安心して過ごせる環境作り
 - ・ 気づきシートの提出、利用者に変化が見られた時にカンファレンスの実施をする
- (4) 環境の整備
 - ・ 花のある環境作り、宿泊棟・居室内の整理整頓、プランターによる季節の野菜作り・活用(料理)

9. 認定こども園(みどりの里)

スローガン: 自然の中で心も体もたくましく ～ふれあい・まなびあい・たすけあい～

- (1) 保育内容の充実
 - ・ 保育課程・年間・月間指導計画・週案・日案策定、主活動の充実、冒険の森・農園等自然環境の活用
本に親しませる時間の確保、人間尊重の視点・人間関係作り、室内遊びの充実、部屋の環境づくりと保育士の連携、係活動を進める、ウッドデッキの階段にスリッパや靴を置かない、毎日砂場を耕し子どもが遊びやすくする、靴箱に靴を入れ、道具を片付けする習慣づけ、保育室・トイレの整理整頓や掃除・掲示の工夫
- (2) 保護者との連携
 - ・ 夏祭り・運動会への協力・冒険の森とふれあい遊び、1日の様子を伝える・連絡帳での情報交換・園便り・クラス便り・ホワイトボードへの記入、笑顔・感謝・誠実な対応、地域の人材活用・世代間交流・行事への来賓招待
- (3) 資質向上
 - ・ 研修会への参加・指導案作成、クラステーマの園内研修、一人一人を大切にしたい個に応じた支援の工夫
T1・T2の動き共通理解・視覚教材・指示の明確化、活動時の噛みつき・事故防止に留意した保育指導
安全な園生活の指導と安全管理、目配り気配りの自己変容、週案・保育日誌等への記入
経費削減
節電・節水、計画的な支出節約への取組、印刷用紙・カラーコピー、入学式・夏祭り・運動会・音楽会・卒園式
- (4) 給食の充実
 - 給食の充実(食育の推進)
食育・給食指導の充実、食べ残しゼロの推進、給食経費の計画的な支出の管理

平成30年度の主な事業計画書

社会福祉法人恵寿会

10. グループホーム(グリーンヒルましき)

スローガン: 続・笑って、話して、和む

(1) アクティビティ・ケアの充実

- ・ 芸術。遊び・携わってきた仕事をもとにしてケアを取り入れ関わる、今までの生活スタイルを尊重し、その方に
応じた生活を送っていただく、発見や好奇心を刺激する取り組みを導入、リアリティ・オリエンテーション
入居者を毎日笑顔にする、年間行事の充実、月に一度の特別食

(2) リスクマネジメントの強化

- ・ 入居者のプライベートを守りつつさりげない見守りを行う、入居者の心身の変化に気を配る、入居者の性格や
行動を把握し危険予知につなげる、身体機能維持のための具体的な機能訓練の導入
定期的なカンファレンスを行う、ヒヤリハット報告を増やす、事業所内リスクマネジメント委員会発足

(4) 地域との輪をつくる

- ・ 地域行事への参加、2カ月に一度の運営推進会議の実施、マシ木ルクを活用した世代間交流を行う、
赤ちゃんを呼び込む仕掛け作り

(5) 職員満足度アップ

- ・ 職員の得意なことを活かせる環境を作る、職員同士互いに理解し合う、職員を知る、
問題の早期発見・評価後の面談含む、四半期毎のヒアリングの実施、時間外労働削減
有給消化率アップ

公益事業

収益事業